

福岡市食肉衛生検査所と畜される牛によく見られる牛白血病についてご紹介します。

近年、牛白血病の発生が全国的に増加しています。有効な治療法がないので、発生防止や摘発・淘汰による感染の拡大防止を徹底する必要があります。牛白血病と診断された場合はとさつ禁止、全部廃棄の対象となります。

牛白血病

※家畜伝染病予防法における届出伝染病に指定されています

牛白血病はリンパ球系細胞の異常増殖により起こる悪性腫瘍で、地方病型（成牛型）と散発型（子牛型、胸腺型、皮膚型）に分類されます。経済的損失が大きく、発生が多いのは、主に地方病型白血病です。

地方病型牛白血病は牛白血病ウイルス（BLV）感染によって起こる疾病です。BLVに感染した牛の多くは無症状ですが、約30%は持続的にリンパ球増多症となり、感染牛の1%以下が発症します。発症牛では、リンパ球系の腫瘍細胞が増殖するためリンパ節の腫大（写真①）、頸部腫脹、眼球突出などがみられ、末期には末梢血中に異型リンパ球（腫瘍細胞；写真②）が出現し、予後不良となります。治療法はありません。

主な症状

消瘦、元気消失、食欲不振、乳量減少、下痢、便秘等の症状を示します。病状が進むと全身のリンパ節が腫れたりします。

感染様式

地方病型では、感染母牛から授乳による感染や胎盤感染、吸血昆虫による吸血、汚染された器具の使用などで、感染牛から健康牛へウイルスが伝播します。

検査方法

食肉衛生検査所では、生体検査で明らかな臨床症状を認める牛は、とさつ禁止にします。解体後検査で牛白血病が疑われる牛は、病理組織検査により臓器やリンパ節のリンパ球系腫瘍細胞（写真③）を確認したり、抗体検査などによる詳細な検査を行い、診断します。

発生状況

当所で過去5年間で確認され、とさつ禁止・全部廃棄になった牛白血病の頭数を示します。次第に増加傾向にあります。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
頭数	5	4	3	5	10

※とさつ禁止・全部廃棄頭数

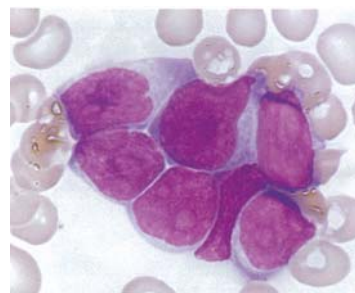
福岡市食肉衛生検査所

〒812-0055 福岡市東区東浜 2-85-14

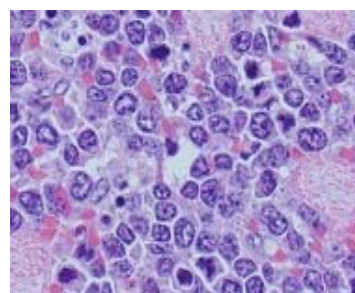
TEL092-651-3404 FAX092-651-9015



①腫大したリンパ節



②血液中の腫瘍細胞



③心臓で増殖する腫瘍細胞